

山梨のメガソーラが導入

古河電工

低圧アルミ導体CVケーブル、盗難防止に期待

古河電気工業と古河電工産業電線が開発・

製造し、SFCCが販売する高機能型低圧アルミ導体CVケーブル

「らくらくアルミケーブル」が山梨県内のメガソーラ

メガソーラ発電所で採用された。ケーブル盗難被害が発生し、早期復旧および盗難防止を目的にしたものだ。

導体にアルミニウムを採用しケーブルシースが青く、銅導体CV

ケーブルとの識別が容易なため、盗難防止効果が期待できるとしている。また「かるい」「かんたん」「柔らかい」といった特長は、早期復旧を望む現場の作業効率改善にも役立つ。

ケーブルの識別が容易なため、盗難防止効果が期待できるとしている。また「かるい」「かんたん」「柔らかい」といった特長は、早期復旧を望む現場の作業効率改善にも役立つ。



接続処理もケーブルが軽くて柔らかく取り回しやすいので、狭いトラスの中での接続にも関わらずスムーズに進む。

SFCCは24年度までに売上高20億円に拡大する計画だ。

